

環境協定締結事業所におけるこの1年間の取組みの成果

事業所名 北陸コカ・コーラボトリング株式会社
リフレッシュメント&ソリューション事業本部
代表者 福井県担当部長 高倉 宏成
所在地 福井市江守中町7号26-1
協定期間 令和3年6月1日～令和4年5月31日
(初回締結日 平成19年4月25日)

※同事業所は、令和3年2月に県の「ふくいSDGsパートナー」に登録し、SDGsの達成に貢献する事業活動を推進

- (1) 使用済みPETボトルをリサイクルして新たなPETボトルへと生まれ変わらせることで資源を最大限活用し、廃棄物削減にも繋がる「ボトル to ボトル」を推進、HPを通じて取り組みを告知している。
コカ・コーラシステムとして国内の清涼飲料事業における2021年のPETボトル容器のサステイナブル素材使用率(※1)が40%となった。
(2021年5月から「コカ・コーラ」などの旗艦製品へ100%リサイクルPETボトル導入)
(※1) サステイナブル素材使用率:「ボトル to ボトル」によるリサイクルPET素材と、植物由来PET素材の合計
- (2) 2022年2月に県内3事業所(福井マーケットサービスセンター、敦賀出張所、小浜営業所)の倉庫および外灯を水銀灯からLED照明へ変更
消費電力量は変更前に比べ、約76%の削減となった。
- (3) 2021年4つの自治体(福井県、大野市、越前市、敦賀市)にて稼働している27台の地域貢献型自動販売機(※2)を通じて、環境保全に係るメッセージを発信
(※2) 災害時、被災者や帰宅困難者のために備付けの電光掲示板から情報を配信、また飲料水を無償提供に切り替えるなどの機能を持つ自動販売機、平常時にはニュースや地域情報を発信している。
- (4) 働き方改革として在宅勤務を推進するほか、営業活動においても毎日会社に出社するのではなく、可能な限り自宅から取引先へ直行・直帰するなど、石油燃料の削減によるCO₂削減に取り組んでいる。
- (5) 福井県全体で、2020年度末に73台あった営業関係車両を7台削減して、2021年末には66台とし、営業関係車両によるCO₂削減に取り組んでいる。

(6) コカ・コーラグループ独自の総合的な環境マネジメントシステム「KORE (コア)」に基づき、自らエコオフィス活動に努め、環境負荷の低減を行い、下記項目について前年の使用量を下回った。

- ・低減項目 ※2020年1～12月と2021年1～12月の対比
電力使用量：90%、車両燃料使用量（ガソリン）：92%

(7) 2021年10月2日に北陸コカ・コーラグループ全体で「全社一斉美化奉仕活動」を実施し、福井県内においては5つの事業所で71名の従業員が参加して美化活動を実施



(8) 事業所にてエコチャレの日ののぼり旗の設置、ポスターによる啓発を実施

